



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
3月12日
発行

第79回

「株式市場の上昇は続く」

～東京五輪と内閣の支持率を評価～

初めに

これまでの自分の日本株の見方は、現在の上昇はしばらく続くものの徐々に勢いを失う、というものでした。しかし、最近の東京五輪に関する動きや内閣支持率を見て、自分が想定していたよりも株式市場は強いのではないかと考えています。理由は2つあります。東京五輪が外国人観光客を受け入れない方向で検討されていること、ここまで低下を続けてきた菅内閣の支持率が足元上昇に転じたこと、この2つです。以下順に説明します。

東京五輪は外国人観光客の受け入れなしで開催

まだ決定ではありませんが、東京五輪は海外からの観光客受け入れなしで開催される模様です。3月10付日本経済新聞は「海外客受け入れ断念へ日本側が方針」と報じました。株式市場の一部には外国人観光客が来なくなることによる経済効果の低下を懸念する声もありますが、感染防止の観点からはこれは必要な措置と言えます。五輪開催に向けて大きく前進といったところでしょう。

菅内閣の支持率回復

菅内閣の支持率が回復しています。2021年1月から3月の菅内閣の支持率は、日経新聞の報道では1月が43%、2月が44%^(注1)、NHKの報道では2月が38%、3月が40%^(注2)、読売新聞の報道では2月が39%、3月が48%^(注3)など、各社とも1月から3月にかけて改善を示しました。菅内閣の支持率は政権発足直後は高かったのですが、新型コロナへの対応が上手くいかなかったことや自民党議員の度重なる不祥事などから低下を続け、直近では50%を割り込んでいました。しかし、ここに来て久し振りの上昇となりました。その理由は、緊急事態宣言を発出し従来以上に力を入れてコロナ対策に取り組んだこと、また国民とのコミュニケーション改善に取り組んだことなどにあると思います。こうした菅氏の姿勢を見る限りにおいては更なる支持率の上昇を期待できると思います。今年は秋に自民党総裁選、年内には衆院選が見込まれています。そのため年後半の株式市場は政治が大きなテーマになると思います。菅内閣の支持率が低迷しているようであれば株式市場には悪材料ですが、ここから盛り返すということであれば逆に好材料になるでしょう。

結論

以上述べてきましたが、年内の株式市場は自分の元の想定より強く、年後半になっても上昇を続けると予想しています。業種的には引き続き景気回復の恩恵を受ける株が上昇を牽引する、との見方です。

(注1) 日本経済新聞『内閣支持率44%横ばい 首都圏の緊急事態「再延長を」8割』（2021年2月28日報道）

(注2) NHK『NHK世論調査』（2021年3月9日更新）

(注3) 読売新聞『菅内閣の支持率、4.8%に上昇…読売世論調査』（2021年3月8日報道）

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。